

新潟人

子育て応援仕掛け人・今井進太郎さん(29)

母親たちの再就職支援も力点

12歳以下の子を持つ会員は飲食店やスーパーマーケットなどで優待サービスを

受けられる。くらぶ設立から今春で丸1年。会員は新潟、長岡両市を中心に7千世帯を突破し、協賛店も500以上に増えた。

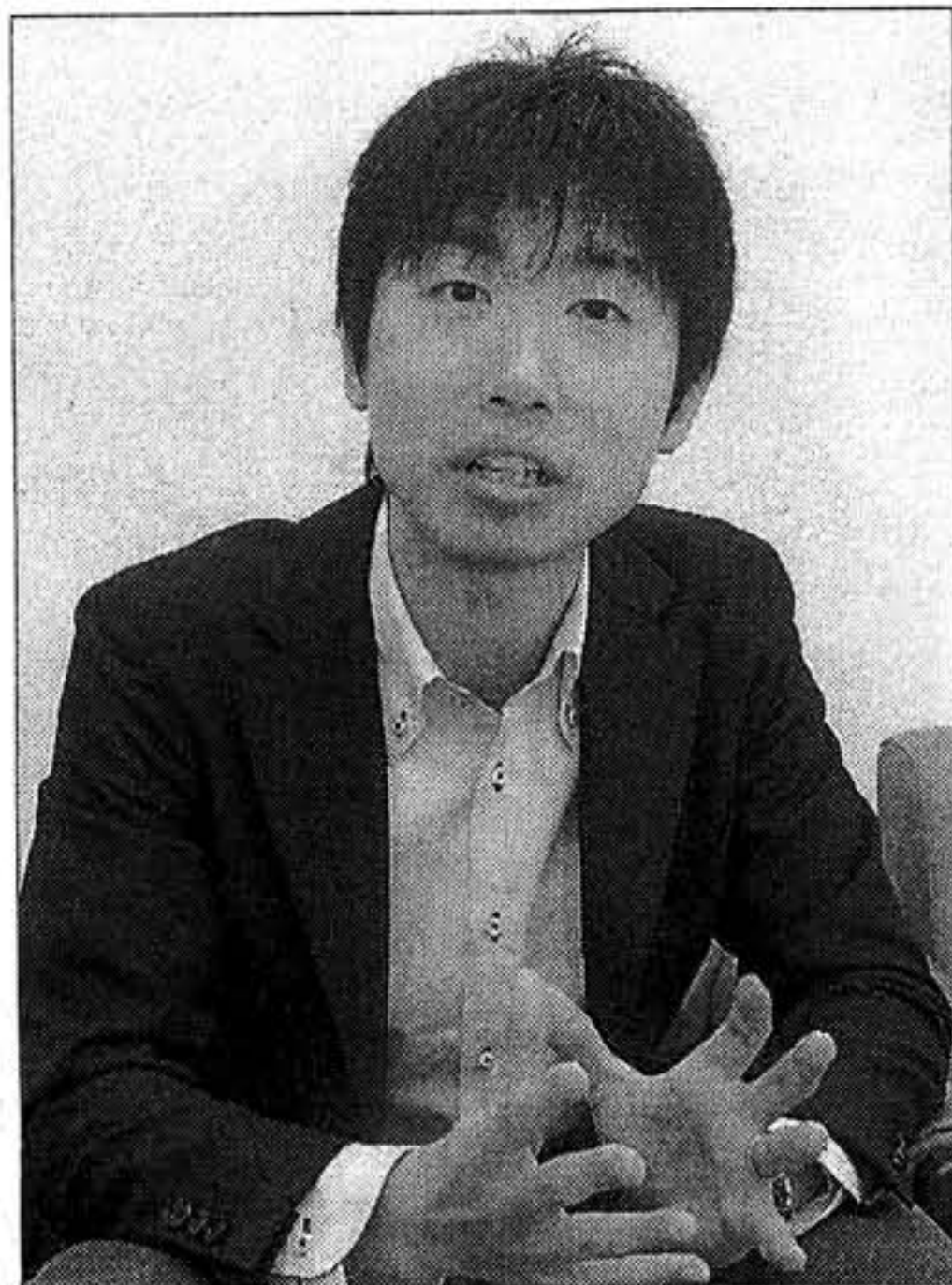
多くの人が日々の子育てに追われる中、どうしたら楽しくできるのか。自分が手掛けている販売促進企画の仕事と結びつくことはいの。思案の中で生まれたのが「トキっ子くらぶ」だった。「行った店先で楽

しめる仕掛けがある」と思ったのです。

今の仕事を与えてくれたのは06年12月生まれの長男悠太郎くん。以前は小さな子どもと接する機会がなく、子育てと無縁だった。

「この仕事をしていなかったら、子育てに無関心な父親だったかも知れません」

設立当初は会員集めや企業回りで多忙を極めた。「子育て支援を目指すなら、まず私を手伝って」。妻に文句を言われたことも。今は、母親の視点から



79年、長岡市生まれ。東京の大学を卒業後、コンサルティング会社に勤務。04年に長岡市に戻り、06年6月に販売促進企画会社を設立。「トキっ子くらぶ」は07年4月に本格的なサービスを開始した。問い合わせはくらぶ事務局(0258・25・6805)へ。

求められるサービスは何かなど、仕事のアドバイスをしてくれる貴重な味方だ。

会員数が増えるにつれ、認知度も高まり、企業から問い合わせが来るようになった。

「社長自ら電話で「ぜひやりたい」と参加を決めた企業もあった。育児支援

に企業や地域が前向きになりつつあるとも感じる。

ただ、求めるのは割引といった経済的なメリットだけではない。子連れでもためらわずに飲食店に入れる雰囲気、レジでの「お子さん、いくつ?」といった何げない会話、インターネットを活用した育児の悩み相談など、さまざまな形での支援の輪を広げる考えだ。今後は親子で参加できるイベントや母親の再就職支援にも力を入れていく。

「10年、20年とサービスを継続させていきたい」。そのためには、会員も協賛店も、くらぶを支えるスタッフも満足できる状況が必要だと考えている。